

専門分野：看護の統合と実践

〈概要〉

看護の統合と実践は、基礎分野・専門基礎分野・専門分野で学習した内容を、実践により近い形で学習し、知識・技術を統合し実践する基礎的能力を養うことを目的としています。看護の統合と実践（4単位90時間）は、「看護管理」「医療安全」「災害看護」「看護倫理」で構成されています。

「看護管理」は、医療サービスにおける看護管理の意義と役割を学び、良質な看護ケアを提供するための組織・業務管理・人的資源の活用について学びます。さらに、看護実践能力を構成する概念を知り、看護師のチームワークと実際にケアするための方法を学びます。「医療安全」は、安全な看護実践を提供するために、医療の現場における危険因子を認識し、事故事例を分析し安全対策について学びます。「災害看護」は、災害の理解と災害時における看護師の役割を認識し、災害現場で行われる看護の実践を演習で学びます。「看護倫理」は、看護の倫理規定を学び看護現場の倫理的諸問題を理解します。そして、演習で倫理的観点から患者の人権を尊重し自己の意見を述べることを学びます。

〈単位〉 4単位 90時間

〈目的〉 基礎分野・専門基礎分野・専門分野で学習した内容を、実践により近い形で学習し、知識・技術を統合し実践する基礎的能力を養う。

〈目標〉

1. 看護管理の意義と役割を理解する。
2. 医療現場の事故発生要因を知り、安全対策を理解する。
3. 災害看護を理解し、防災対策や災害時の看護につながる基礎的能力を身につける。
4. 看護倫理を知り看護場面の諸問題について倫理的観点から意見が述べられる。

〈看護の統合と実践の科目構成と単位時間数等〉

科目	単位	時間	年次	時期	学習内容
看護管理	1	30	3	前期	・人々の生活と看護のかかわり ・看護管理の基本となるもの ・看護師の仕事とその管理 ・看護の質向上 ・看護管理に求められる能力 ・看護職とキャリア ・看護と経営 ・看護活動を取りまく法律・制度 ・1日の業務の組み立て方 ・多重課題への対処 ・看護師のチームワークとコミュニケーション ・多職種のチームワークとコミュニケーション ・薬物・物品の管理
医療安全	1	30	3	前期	・医療安全と看護の理念 ・医療安全への取り組みと医療の質と評価 ・在宅看護における医療事故と安全対策 ・医療事故後の対応 ・看護学生の実習と安全 ・事故発生のメカニズムとリスクマネジメント ・患者・家族との協同と安全文化の醸成

					・看護における医療事故と安全対策 ・医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 ・感染経路別予防策 ・感染予防対策（事例） ・個人防護具着脱、吐物処理
災害看護	1	1 5	3	前期	・災害看護の基礎知識 ・災害時要援護者への理解とネットワークの重要性 ・病院災害と防災対策マネジメント ・被災者の心理・援助者の心理への理解と援助 ・災害時における看護の役割と活動内容 ・国際看護 ・災害時に必要な医療・看護技術
看護倫理	1	1 5	3	前期	・倫理学の基本的な考え方 ・生命倫理 ・性と生殖の生命倫理 ・死の生命倫理 ・先端医療と制度をめぐる生命倫理 ・看護倫理とはなにか ・専門職の倫理 ・倫理的問題へのアプローチ ・看護研究の倫理 ・事例分析
合計	4	9 0			

	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
看護管理	専任教員 看護師	3 年次前期	1 単位／30 時間	
科目目標				
科目目標				
1. 良質な看護ケアを提供するための組織・業務管理・人的資源の活用について学ぶ。				
2. 医療サービスにおける看護管理の意義と役割を理解する。				
3. 看護に関する法律・制度を理解する。				
4. 国内外の専門職団体との連携や国際協力を理解する。				
5. 臨床実践能力を構築するための理論や技術を学ぶ。				
6. 複数患者を受け持つための情報収集・管理、多重課題への対処を学ぶ。				
教科書		参考文献		
1) 吉田千文他：看護管理 ナース・グラフィック看護の統合と実践①MC メディカ出版 2022		1) 佐藤登美：基礎看護学、看護学概論 メディカルフレンド社、2016		
2) 小澤かおり：看護実践マネジメント/医療 安全 新体系看護学全書 看護の統合と 実践① メディカルフレンド社 2021		2) 小林亜美：看護管理、学研、2013 3) 手島恵他：看護管理学、南江堂、2013 4) 上泉和子：看護管理 看護の統合と実践① 医学書院、2018		
評価方法				
筆記試験				
時間	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回～ 4 回	人々の生活と看護のかかわり 看護管理の基本となるもの 看護の仕事とその管理 看護の質向上 看護管理に求められる能力	・看護職の活動の変遷 ・看護の役割と対象 ・看護管理とは ・看護管理の基盤となる知識 ・看護管理のプロセス ・専門職とは ・市民・多職種との連携・協働 ・看護管理で必要なこと ・看護提供システム ・看護管理と倫理 ・セルフマネジメントのスキル ・人・集団に働きかけるスキル ・看護管理能力の基盤となる理論	講義	専任教員
第5回～ 8 回	看護職とキャリア 看護と経営	・人を育て生かす ・社会人になる ・看護職としてのキャリア ・医療と経済 ・看護にかかわる医療と介護制度 ・病院経営と看護管理	講義	認定看護 管理者
第9回～ 11 回	看護活動を取りまく法律・制度 業務遂行のためのマネジメント	・看護管理に関連する法律 ・保健医療福祉政策と最近の動向 ・看護と専門機関・職能団体 ・複数患者を受け持つための情報収集 ・一日のスケジュールの立て方と業務時間の管理 ・多重課題の対処 ・情報収集と伝達方法	講義	専任教員
第12回 ～14 回	複数患者を受け持つための情報 収集・管理	・1 日の業務の組み立て ・多重課題への対処 優先順位の判断基準 ・看護師のチームワークとコミュニケーション ・多職種のチームワークとコミュニケーション	講義	専任教員

		・薬物・物品の管理		
第15回	筆記試験			専任教員

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
医療安全	専任教員 医療安全管理者 感染管理認定看護師	3 年次前期	1 単位／30 時間	
科目目標				
1. 医療機関や看護における安全対策、安全文化についての基礎的知識を学ぶ。 2. 安全な医療を提供するための組織としての取り組みや安全対策についての知識と技術を修得する。				
教科書		参考文献		
1) 松下由美子他：ナース・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全 MCメディカ 出版 2) 小澤かおり：看護実践マネジメント/医療安全 新体系看護学全書 看護の統合と実践① メヂカルフレンド社 2021		1) 山内豊明他：医療安全 多職種でつくる患者安全 をめざして 南江堂 2) 小林美亜：医療安全、学研 3) 日本看護協会：医療安全推進のための標準テキスト		
評価方法				
筆記試験				
授業計画				
時間	単 元	授業内容等	授業 方法	授業担当
第 1 回～ 5 回	医療安全と看護の 理念 医療安全への取り 組みと医療の質の 評価 在宅看護における 医療事故と安全対 策 医療事故後の対応 看護学生の実習と 安全	医療安全の意味とその重要性 看護職の法的規定と医療安全 国の医療安全への取り組み 看護職能団体の取り組み 国および医療関係団体の示す医療事故の定義と分類 医療事故の報告制度 医療の質の評価 在宅看護の現状 在宅看護における医療事故とその対応 在宅看護におけるリスク管理の現状と課題 医療事故発生時の初期対応の考え方と方法 紛争化防止対策 専門職としての個々人の備え 患者の安全確保と医療者の安心確保のために 実習における事故の法的責任と補償 実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応 修得すべき看護技術のリスクと安全	講義 演習	専任 教員
第 6 回 ～ 14 回	事故発生のメカニ ズムとリスクマネ ジメント 患者・家族との協 同と安全文化の醸 成 看護における医療 事故と安全対策 医療従事者の安全	事故発生のメカニズム 事故分析 事故対策 患者・家族との協同 医療安全管理者―医療安全を担う新たな役割 全員参加の医療安全：安全文化の醸成 看護業務と事故発生要因 医療事故の種類：その分析 医薬品への暴露 労働形態、作業に伴うもの	講義 演習	医療安全 管理者

	を脅かすリスクと 対策 医療現場における 感染対策の実際	患者、同僚および第三者による暴力 感染経路別予防策 感染予防対策 個人防護具着脱、吐物処理		感染管理認 定看護師
第15回	筆記試験			専任教員

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数
災害看護	看護師	3年次前期	1単位／15時間
科目目標			
1．災害看護の基礎を学び、それぞれの段階における看護の役割について理解する。 2．災害時に支援ニーズの高い対象が持つ健康ニーズに焦点をあてながら、看護介入を考える。 3．災害に引き続いて起こる外傷体験及びその反応に影響する身体的・情緒的障害とそれに対する看護介入を考える。 4．地域住民の災害時における個人のニーズに加え、地域全体を集団としてとらえた看護介入を学ぶ。 5．国際社会における看護の基礎的な理解をする			
教科書		参考文献	
1)黒田裕子、酒井明子:災害看護、ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践③、MCメディカ出版.		1)酒井明子他：災害看護、南江堂. 2)辺見弘：看護の統合と実践②災害看護学、メヂカルフレンド社.	
評価方法			
筆記試験、レポート			
授業計画			
時間	単 元	授業内容等	授業方法
第1回	災害看護の基礎知識	・災害の種類及び被害・疾患の特徴 ・災害サイクル ・災害時の情報収集と伝達 ・災害医療に関する法律問題	講義
第2回	災害時要援護者への理解とネットワークの重要性 病院災害と防災対策マネジメント	・災害時要援護者とは ・災害時におけるネットワークの活用 ・災害各期における看護活動 ・被災者の心理・援助者の心理への理解と援助 ・災害時における保健・衛生管理・感染症対策 ・防災対策の現状 ・合同災害訓練の実際	
第3回	被災者の心理・援助者の心理への理解と援助	・被災者の心理的特徴と援助 ・援助者の心理状態とその特徴	
	災害時における看護の役割と活動内容	・初動時（超急性期・急性期）における看護活動 ・避難所（急性期・亜急性期）における看護活動 ・仮設住宅（亜急性期・復旧復興期）における看護活動 ・復旧復興期における看護活動	
第4回	国際看護	・国際看護とは ・国際看護の対象 ・国内と海外における国際看護	演習
第5回 ～7回	災害時に必要な医療・看護技術	・体系的対応の基本原則 ・災害時のトリアージ ・応急処置・搬送技術 ・止血帯法（院外で行う場合）	
第8回	筆記試験		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数
看護倫理	専任教員 看護師	3 年次後期	1 単位／ 1 5 時間
科目目標			
科目目標 1. 看護の倫理とは何かについて理解する。 2. 臨床場面での倫理的諸問題を理解する。 3. 倫理的観点から自己の意見が述べられる。 4. 患者の人権を尊重する能力を養う。			
教科書		参考文献	
1)宮坂道夫他：系統看護学講座別巻看護倫理、医学書院.		1)大北全俊他：事例でまなぶケアの倫理 MCメディカ出版. 2)杉谷籐子他：学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理、日本看護協会出版会. 3)吉田みつ子：看護倫理、医学書院. 4)岡崎寿美子他：ケアの質を高める看護倫理、医歯薬出版.	
評価方法			
筆記試験			
授業計画			
時間	単 元	授業内容等	授業方法
第1回～5回	倫理学の基本的な考え方	・ 倫理とはなにか ・ 倫理理論 ・ 他者理解と対話のための理論 ・ 生命倫理とはなにか ・ 生命倫理の理論 ・ 生命倫理と看護職の責務 ・ 守秘義務と個人情報保護	認定看護管理者 講義 GW
	生命倫理		
	性と生殖の生命倫理	・ 性の生命倫理 ・ 生殖の生命倫理	
	死の生命倫理	・ 死について ・ 死と医療 ・ 死についての生命倫理の課題 ・ 移植医療 ・ 再生医療 ・ 遺伝子医療 ・ 医療資源と医療保険制度	
	先端医療と制度をめぐる生命倫理		
第6回～8回	看護倫理とはなにか	・ 看護倫理を学ぶ意義 ・ 看護倫理の歴史 ・ 看護の倫理原則 ・ 看護実践上の倫理的概念 ・ 看護実践と倫理 ・ 専門職の倫理綱領 ・ 看護業務基準と倫理実践 ・ 保健師助産師看護師法と倫理 ・ 看護実践における倫理的問題の特徴 ・ 倫理的問題へのアプローチ ・ 看護研究に必要な倫理的配慮	専任教員 GW
	専門職の倫理		
	倫理的問題へのアプローチ		
	看護研究の倫理		
	事例分析		
第6回～8回	倫理的観点から自己の意見が述べられる	・ 実際の事例をもとにグループワークを行い、自己の倫理観について考え、述べる	専任教員 GW
	筆記試験		